

2026年5月13日
株式会社Arent

石川建設、AIクラウド工程管理『PROCOLLA（プロコラ）』を導入 創業80余年の伝統と最新DXの融合。

現場監督の事務作業を解放し、お客様に「感動」を届ける時間を創出



建設業界のDXを推進する株式会社Arent（本社：東京都港区、代表取締役社長：鴨林 広軌、以下「Arent」）は、群馬県を拠点に、創業80余年の歴史を持つ総合建設業、石川建設株式会社（本社：群馬県太田市、代表取締役：石川 雅一、以下「石川建設」）が、AIクラウド工程管理ツール『PROCOLLA（プロコラ）』を導入したことをお知らせいたします。

今回の導入は、現場監督を煩雑な事務作業から解放し、本来のコア業務である「安全・品質管理」および、同社が掲げる「感動戦略（お客様との感動共有）」に注力できる環境を構築することを目的としています。

■ 導入の背景：伝統ある「現場主義」を加速させるためのデジタル化

石川建設では、経営ビジョンである「石川建設で良かった！」の実現に向け、ICTを活用した生産性向上に注力しています。特に、現場出身の精鋭で構成される「建設DX推進部」を設置し、現場の負担を直接的に軽減する施策を推進してきました。

これまで同社ではExcelやCADを用いて工程管理を行ってきましたが、「工程の修正時にすべての線を引き直す必要がある」「全体工程から月間・週間工程を別途作成する手間」といった課題を抱えていました。現場監督が事務作業に追われる現状を打破し、より付加価値の高い業務に集中できるよう、大林組とArentが共同開発した『PROCOLLA』の導入に至りました。

■ 導入の決め手と期待される効果

1. 「一度描けば、すべてが繋がる」データの連動性

マスター工程（全体工程）から、必要な期間や工種を抜粋して「月間工程表」「週間工程表」を瞬時に出力できる機能を高く評価。二重、三重の入力作業を排除し、転記ミスの防止と大幅な時短を実現します。

2. 「同時編集」によるリアルタイムな技術伝承

クラウド上で一つの工程表を共有・編集できるため、ベテランが若手の工程表にオンラインでアドバイスを送るなど、場所を選ばない技術指導が可能に。現場の勘をデジタル上で可視化し、教育のスピードを早めます。

3. AI活用による「属人化」からの脱却と若手育成

AIのサポートにより、経験の浅い若手や文系出身の社員でも、早い段階で「合格点の工程表」を作成可能に。特定の個人に依存しない「強い現場」の構築を、PROCOLLAが下支えします。

■ 導入事例インタビュー（note）

石川建設 建設DX推進部の皆様がPROCOLLA導入に至る背景や、DXを通じて目指す未来についての詳細なインタビュー記事を公開しております。

▼【導入事例】建設DX推進部が挑む「工程管理のDX」。事務作業を削り、お客様への「感動」を生む時間を創る。

<https://note.com/arent3d/n/nc8b8b21cf5c3>

■ PROCOLLAについて

大林組とArentが共同開発した、建設現場のためのAIクラウド工程管理ツールです。Excelのような自由な操作性と、クラウドによるリアルタイムな情報共有・データ一元化を両立。「現場の作法を変えない」ことを設計思想とし、導入直後から誰でも使いこなせる高いユーザビリティを実現しています。

- 製品サイト：<https://procolla.com>
- お問い合わせ：<https://procolla.com/contact>
- デモ予約：<https://x.gd/5jg6W>

■ 株式会社Arentについて

「暗黙知を民主化する」をミッションに、建設業界のDXを推進する企業です。クライアント企業と共に課題解決に取り組む「DX事業」と、自社SaaSを展開する「プロダクト事業」の二軸で事業を展開しています。BIMを直感的に扱えるRevit向けプラグイン「LightningBIM」シリーズの提供や、M&Aを通じたグループ拡大により、建設業界の構造的課題をテクノロジーで解決しています。

【会社概要】

- **会社名**：株式会社Arent
- **所在地**：東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル3階
- **代表者**：代表取締役社長 鴨林 広軌
- **設立**：2012年7月2日
- **資本金**：12億8,653万6,388円
- **事業内容**：建設・プラント業界向けDX支援、システム開発・販売
- **Webサイト**：<https://arent.co.jp/>

<本件に関するお問合せ>

info@arent3d.com

以上